

「地域密着型金融」の推進に関する取組みについて
(19年度～20年度)



目次

I. 「地域密着型金融」への取組み方針

II. 中期経営計画との関連

III. 「地域密着型金融」の具体的な取組み事項

(1) ライフサイクルに応じたお取引先企業の支援強化

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

I. 「地域密着型金融」への取組み方針

「地域密着型金融」への取組み方針

- 地域密着型金融(リレーションシップバンキング)は、地域金融機関の収益の源泉である地域経済を金融面から活性化させるために、お取引先の業績拡大、新事業の創業、事業の再生に係る支援等に従来以上に深く関与することで、結果的に金融機関の収益基盤を再構築していくといういわゆる「顧客満足度の向上」と「当行の収益向上」を両立させるビジネスモデルであると認識しています。
- 「地域との共存・共栄」という経営理念をベースとして、地域経済活性化に資する地域密着型金融を継続して取り組んでいくことが、将来的な当行の収益向上に繋がるものと考えています。
- 地域密着型金融の主旨は、既に平成19年4月から取り組んでいる中期経営計画「バリュー・アップ！」に盛り込んでおり、引続きこれまでの地域密着型金融推進の取組みの価値を高め、当行取引先の満足度(売上高・営業利益等)を向上させ、地元企業・地域経済の更なる発展に貢献できるように、真にあるべき金融サービスが提供できる「地域満足度NO.1銀行」の実現を目指して参ります。

当行の経営理念～みやぎんスローガン～

『地域の明日を考える』

私共は豊かな明日に向かって、地域のみなさまと共に繁栄することを目指します。

『健全な歩みで信頼に応える』

私共は信頼される金融機関として、人と組織を活かし、健全充実経営を目指します。

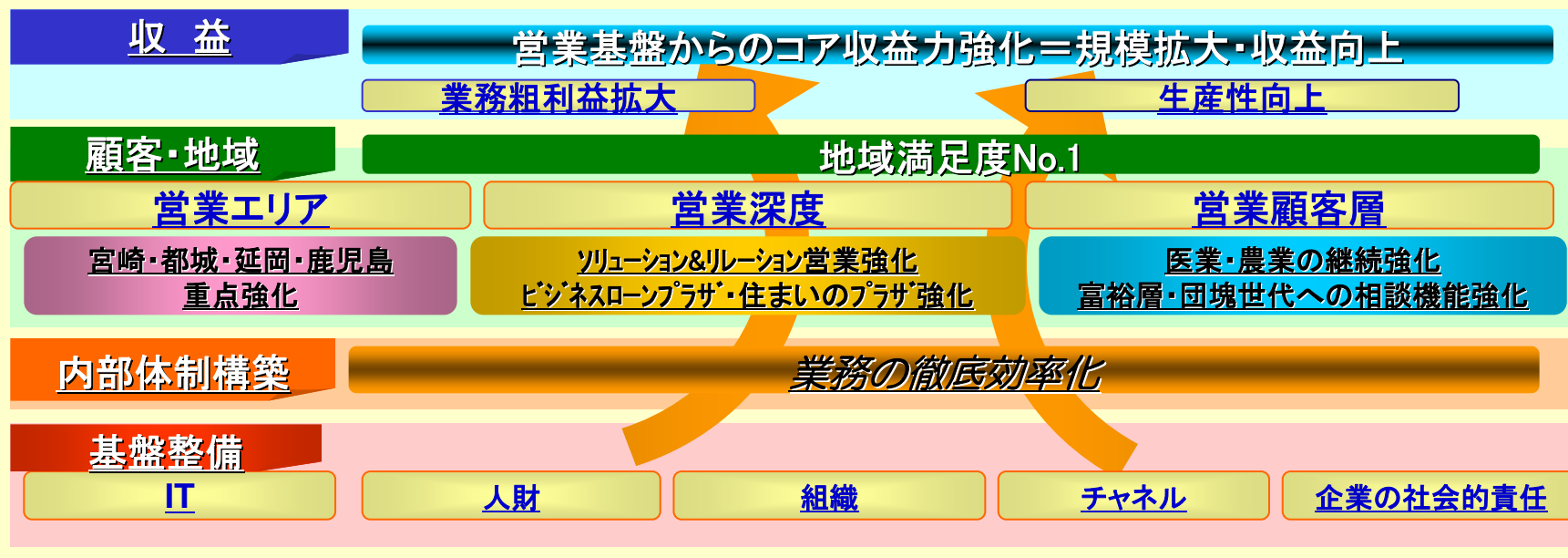
『誇りと自信をもって未来に挑戦する』

私共は時代の変化に適切に応えるため、英知と気力を結集し挑戦し続ける風土を目指します。

II. 中期経営計画との関連

地域密着型金融の推進は中期経営計画における取組みの一環として位置付けます。

中期経営計画「バリュー・アップ！」概念図



地域密着型金融の推進

1. ライフスタイルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

中期経営計画「バリュー・アップ！」

地域満足度NO. 1銀行を目指して
(計画期間:平成19年4月～平成21年3月)

「地域満足度NO.1銀行」を実現するためにCSR経営を実践し、お客さま、地域、株主、従業員すべてのステークホルダーにとって「価値のある銀行」を目指します。

【計数目標】
コア業務純益105億円以上、ROE5%以上、不良債権比率3%未満

Ⅲ. 地域密着型金融の具体的な取組み事項①

(1) ライフサイクルに応じたお取引先企業の支援強化

お取引先企業の様々な成長段階に合わせた審査機能(目利き能力)を強化し、各種手法の活用等によりお取引先企業を支援し、地域金融の円滑化を図ります。

項目	具体的な取組み
創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none">◆産学官等との連携を強化し、ベンチャー企業育成及び新事業展開に資する提案型セールスを推進します。◆融資審査能力向上に資する行内外研修を実施します。
経営改善支援	<ul style="list-style-type: none">◆お取引先のニーズに応じたコンサルティング機能や情報提供機能を強化します。◆外部機関との連携強化により、お取引先企業に対する経営相談・支援機能を強化します。
事業再生支援	<ul style="list-style-type: none">◆本部と営業店との連携強化により、お取引先企業の再生支援ノウハウの共有化を促進し、債務者区分のランクアップへの取組みを強化します。◆事業再生ファンドの活用など多用な再生スキームの展開に取り組んでいきます。◆中小企業再生支援協議会等外部機関を積極的に活用していきます。
事業承継支援	<ul style="list-style-type: none">◆行内外のネットワークの活用や情報蓄積により、ソリューション営業を強化し事業承継機能も強化します。◆次世代経営者(企業後継者)の経営スキル向上のサポートと、リレーション強化に努めます。

Ⅲ. 地域密着型金融の具体的な取組み事項②

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

お取引先企業の将来性や技術力を的確に評価する目利き能力を向上させ、各々の事業価値を見極めた上で、それぞれの状況に応じた多様な資金供給手法を用いて、地域金融の円滑化を図ります。

項 目	具体的な取組み
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資推進	<ul style="list-style-type: none">◆無担保・第三者保証人不要型融資商品の推進や商品内容の見直しを随時行っていきます。◆動産・債権譲渡担保融資等を活用した貸出スキームの充実に向け、引き続き検討していきます。
資金調達手法の多様化への対応	<ul style="list-style-type: none">◆業態特性に応じたソリューション営業ツールを拡充していきます。 (商品ラインアップの充実)◆私募債やシンジケートローンなど多様な資金供給手法を推進します。
目利き能力向上に資する人財育成	<ul style="list-style-type: none">◆ソリューション営業に資する「法人営業マイスター養成研修」を継続して実施していきます。

Ⅲ. 地域密着型金融の具体的な取組み事項③

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

「地域経済の活性化」につながる、事業性貸出に留まらない多様な金融サービスの提供等により持続可能な地域経済への貢献を図ります。

項 目	具体的な取組み
地域の特性に応じたサービス提供	<ul style="list-style-type: none">◆ 医業分野への継続的な取組みを推進していきます。◆ 農業分野への継続的な取組みを推進していきます。
地域社会への多様なサービス提供	<ul style="list-style-type: none">◆ 地方公共団体等が取り組んでいる「地域行事」への参画・協賛を推進します。◆ 産学官等の連携を強化し、当行が持つ各種ノウハウ等を提供していきます。
利用者の声を把握するための取組み	<ul style="list-style-type: none">◆ 引き続き、お客さまのニーズを踏まえたビジネスモデルを展開していくために継続的な利用者アンケートを実施していきます。